

共通教育特設プログラム

自分の立ち位置を見きわめ
21世紀の社会に責任を持って生きるために

環境・ESDリテラシー

健康・自己管理

キャリアディベロップメント

人間の心と思想

歴史から見た世界

ことばと文化

社会のしくみと動き

文系のための数学

英語ステップアップ

英語国際コミュニケーション

それぞれの単位を修得すれば、卒業資格とは別に、
修了認定証が授与されます。

就職活動等において、アピールする材料として上手に活用しましょう。
対象は、学類1～4年生および大学院学生です。

金沢大学共通教育機構

「共通教育特設プログラム」とは

毎年1000以上開講される共通教育科目を、目的意識をもって履修できるよう、平成23年度に開設したものです。いずれかの特設プログラムを履修することで、自分の立ち位置を見きわめ、21世紀の社会に責任を持って生きるための叡智と指針を体得できるよう、組み立てられています。

平成26年度共通教育特設プログラム

平成26年度には、以下の10のプログラムが開設されます。

各プログラムは複数の共通教育科目から構成され、修了要件が定められています。

それぞれの構成や修了要件については、2014年度版『共通教育科目履修案内』または2014年度版「共通教育科目履修案内(共通教育特設プログラム抜粋版)」で確認してください。

環境・ESDリテラシー

9単位以上

持続可能な社会をいかに構築するかについての体系的な知識を修得し、問題解決に向けた実践的能力を養成します。



健康・自己管理

10単位以上

青年期の心身の成長と自己管理を促すとともに、他者との円滑な人間関係を自ら築くコミュニケーション能力を養成します。



キャリアディベロップメント

10単位以上

生涯にわたって担う社会的役割(キャリア)について深く考えるなかで、現代の社会人として活躍するための必要な基礎力を養成します。



人間の心と思想

10単位以上

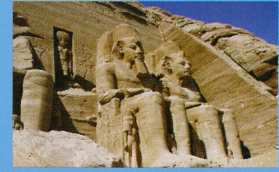
人間そのものに関する幅広い知識と問題意識をもつとともに、批判的かつ実証的な人文科学的思考法を身につけることを目指します。



歴史から見た世界

10単位以上

過去を現在・未来に活かすための知識や方法、人間や社会に対する洞察力を、歴史の観点から身につけることを目的とします。



ことばと文化

10単位以上

ことばとことばをめぐる人間の諸側面、諸活動を知り、その多様性に触れることで、人間に対する理解を深めるとともに、他者に対する理解の幅を広げることを目標とします。



社会のしくみと動き

10単位以上

社会の一員として、自らが生活する社会の学問的な把握と分析の一端に触れ、よりよい社会を形成するための思考の手がかりを得ることを目標とします。



文系のための数学

6単位以上

教養としての数学を身につけるとともに、人文・社会科学に用いられる数学の基礎的知識が習得できます。



英語ステップアップ

10単位以上

自分の専門分野あるいは関心のある領域であれば、やや込み入った内容であっても、英語でやり取りできる能力を養成します。ヨーロッパ共通言語参照枠(CEFR)におけるB2(自立した言語使用者)相当の英語力です。



英語国際コミュニケーション

20単位以上

自分の専門以外の分野であっても、社会で一般的に使われている英語であれば、その内容を理解し、会話に積極的に加わって自分の意見を述べたり文章を書いたりする能力を養成します。ヨーロッパ共通言語参照枠(CEFR)におけるC1(熟達した言語使用者)相当の英語力です。



※各プログラム名の次の ■ 内は、修了に必要な単位数です。



「共通教育特設プログラム」履修上の留意事項

- 1 10のプログラムは、平成26年度入学生とともに、平成25年度以前入学の在学生(大学院生を含む)の皆さんも対象となります。在学生の皆さんのために、2014年度版「共通教育科目履修案内(共通教育特設プログラム抜粋版)」が、各学類学務係および各研究科の学務係に置かれています。
- 2 プログラムに含まれる授業科目の単位は、プログラムの修了要件の充足とともに、卒業のための単位修得要件の充足にも用いることができます。
- 3 平成22年度以前入学の在学生の皆さんがプログラム履修を申請する場合は、既修得単位を修了要件に算入することができます。共通教育学務係で問い合わせてください。
- 4 プログラムの登録方法および「修了認定証」交付の申請方法については、共通教育学務係で問い合わせてください。

共通教育科目 履修案内 P68～80を抜粋

14. 共通教育特設プログラム

(1) 「共通教育特設プログラム」とは

共通教育科目は、所属する学類の単位修得要件（48ページ以下参照）に従って履修しなければなりません。しかし各学類とも、科目を自由に選択できる余地を残しています。もしそこで、脈絡もなく安易な方法を選んで履修すれば、共通教育で何を学んだのかが分からなくなり、将来きっと後悔することになるでしょう。

このプログラムは、毎年1000以上開講される共通教育科目を、目的意識を持って履修できるよう、平成23年度に開設したものです。学生諸君がこのプログラムの何れかを履修することにより、自らの立ち位置を見きわめ、21世紀の社会に責任を持って生きるための叡智と指針を体得できるよう組み立てられています。

(2) 「共通教育特設プログラム」の梗概

平成26年度は、「共通教育特設プログラム」として次の10のプログラムを用意しています。各プログラムは複数の共通教育科目から構成され、それぞれ「修了要件」が定められています（(6)を参照してください）。

- ・「環境・ESDリテラシー」プログラム
- ・「英語ステップアップ」プログラム
- ・「英語国際コミュニケーション」プログラム
- ・「歴史から見た世界」プログラム
- ・「健康・自己管理」プログラム
- ・「キャリアディベロップメント」プログラム
- ・「人間の心と思想」プログラム
- ・「文系のための数学」プログラム
- ・「社会のしくみと動き」プログラム
- ・「ことばと文化」プログラム

「修了要件」を満たした場合には、申請により「修了認定証」が交付され、学習成果を自ら確認できるとともに、就職活動などに活用することもできます。

(3) 各プログラムの修了要件と卒業に必要な単位

各プログラムを構成する授業科目は、すべて共通教育科目です。したがってこれらの科目の単位を修得すれば、プログラムの修了要件を満たすだけでなく、卒業に必要な共通教育科目の単位に充てることが可能です。

なお、プログラムを構成する科目には開放科目（11ページ参照）が含まれています。この開放科目の単位は、共通教育科目、専門科目のいずれで履修登録しても、プログラムの修了要件を満たす単位とみなされます。

(4) プログラムの登録

毎学期の履修登録期間に登録、取りやめ、変更の手続きができます。登録の手続き等については、掲示等でお知らせします。

なお、国際学類の学生は、「英語ステップアップ」プログラムの登録ができませんので注意してください。

(5) 「修了認定証」交付の申請

毎学期の後半に申請方法・期間を掲示等でお知らせしますので、「共通教育特設プログラム修了認定証交付申請書」を、共通教育学務係に提出してください。

(6) 各プログラムの概要・学習目標・修了要件等**① 環境・ESDリテラシー****【概要】**

「文明の大転換期」とも言われる今日、私たちには、人類が直面する資源、エネルギー、食糧、人口、気候・環境等の地球規模の問題や、国内における少子高齢化、地方文化の衰退等の問題に、積極的に取り組むことが求められています。

そのような人づくりを進めるため、国連による「持続可能な開発のための教育－ESD－の10年」が2005年から始まりました。日本は国連への提唱国として、これを国内外に積極的に推進しています。

本学も「金沢大学環境方針」に基づき様々な対策を推進するとともに、国内外で活躍できる環境人材の養成を重点課題の一つと位置づけました。本プログラムは、各学類での専門教育の域を超え、持続可能な社会をいかに構築するかについての体系的な知識を修得し、問題解決に向けた実践的能力を身につけることを目指します。

【学習目標】

持続可能な社会をいかに構築するかについての体系的な知識を習得し、問題解決に向けた実践的能力を身につけることを目標とする。

【修了要件】

表中の必修科目および選択科目A、B、Cの3群から修了要件内訳に従って科目を選択・履修し、合計9単位以上を修得すること。

区分	科目名	単位数	修了要件内訳	共通教育科目区分	備考
必修	地球環境と持続可能な社会づくり	2	2単位	総合科目 (大テーマa)	
選択	環境と技術	2	A群から 4単位以上	総合科目 (大テーマb)	
	持続可能な社会のエネルギー技術	2		総合科目 (大テーマa)	
	環境動態学概説	2		一般科目 (自然)	開放科目（国際学類）
	金沢入門―自然と風土―	2		総合科目 (大テーマa)	

区分	科目名	単位数	修了要件 内訳	共通教育科目 区分	備考	
選択	A群	環境政策論	2	A群から 4単位以上	テーマ別科目 (大テーマa)	開放科目 (地域創造学類)
		環境思想	2		テーマ別科目 (大テーマa)	開放科目 (法学類・地域創造学類)
		英語Ⅲ (専門セミナー)	2		言語科目	環境と健康に関する医学類提供科目
		微生物と人間社会	2		総合科目 (大テーマc)	
	B群	里山体験実習 in 角間 (エコロジー)	1	B群から 1単位以上	総合科目 (大テーマb)	いしかわシティカレッジ開講 (集中講義)
		里山体験実習 in 角間 (生活体験)	1		総合科目 (大テーマb)	いしかわシティカレッジ開講 (集中講義)
		里山体験実習 in 能登半島	1		総合科目 (大テーマb)	いしかわシティカレッジ開講 (集中講義)
		里海体験実習 in 能登半島	1		総合科目 (大テーマb)	いしかわシティカレッジ開講 (集中講義)
		ゼミ/角間の里山づくり 春・夏編	2		テーマ別科目 (大テーマb)	
		ゼミ/角間の里山づくり 秋・冬編	2		テーマ別科目 (大テーマb)	
		環境の現場に学ぶ	2		テーマ別科目 (大テーマa)	
		海の動物の探索演習	2		テーマ別科目 (大テーマb)	いしかわシティカレッジ開講 (集中講義)
		身体・スポーツ実技/野外活動	1		テーマ別科目 (大テーマa)	
	C群	ハロー・ケミストリー	2	C群から 2単位以上	テーマ別科目 (大テーマb)	
		文化人類学	2		一般科目 (人間)	
		多文化共生の時代を生きる	2		総合科目 (大テーマa)	
		北陸・石川の自然地理と地域	2		一般科目 (社会)	開放科目 (人文学類・地域創造学類)
		地域の科学C	2		一般科目 (社会)	
		地域の科学D	2		一般科目 (社会)	
		環境文学	2		テーマ別科目 (大テーマa)	
		人文地理学入門	2		一般科目 (社会)	

今年度に関講しない科目も含まれます。時間割表で確認してください。

② 英語ステップアップ

【概要】

在学期間を通じて一貫した英語教育を行い、卒業後に活用できる英語運用能力を養成します。

【学習目標】

自分の専門分野あるいは関心のある領域であれば、やや込み入った内容であっても、英語でやり取りを行なう能力の養成を目標とする。ヨーロッパ共通言語参照枠 (CEFR) においては、B2 (自立した言語使用者) 相当の英語力である (注を参照)。

【修了要件】

表中の英語Ⅱ、Ⅲから10単位以上を修得すること。但し、申請する科目のGPAが2.0以上であること。

区分	科目名	単位数	修了要件内訳	備 考
選択	英語Ⅱ	1科目 2～4単位	英語Ⅱ, Ⅲから 10単位以上	「英語Ⅱ」「英語Ⅲ」で扱われる内容（サブタイトル名） ・語学研修 ・ジョイントクラス ・プレゼンテーション ・ディスカッション ・アカデミックスキル ・国際試験 ・英語で学ぶ文化 ・専門セミナー 每学期複数の「英語Ⅱ」「英語Ⅲ」が開講されているので、各自の 関心や目的にあわせて履修されたい。
	英語Ⅲ	1科目 2～4単位		

【注】

CEFR (Common European Framework of Reference for Languages) は主としてヨーロッパで用いられている言語熟達度を表す客観的基準であり、A 1 (基礎)～C 2 (熟達) の6段階に分類されている。B 2レベルの語学力は次のように説明されている。

- ・自分の専門分野の技術的な議論も含めて、抽象的かつ具体的な話題の複雑なテキストの主要な内容を理解できる。
- ・お互いに緊張しないで母語話者とやり取りができるくらい流暢かつ自然である。
- ・かなり広汎な範囲の話題について、明確で詳細なテキストを作ることができ、さまざまな選択肢について長所や短所を示しながら自己の視点を説明できる。

(『外国語教育Ⅱ 外国語の学習、教授、評価のためのヨーロッパ共通参照枠』(朝日出版社) 25頁)

③ 英語国際コミュニケーション

【概要】

本プログラムでは持続可能な未来に向けて、英語使用空間において自らの見解を明快に表現することができるとともに、様々な文化的背景を持つ他者に耳を傾け、交渉し協働することのできる、高度な言語運用能力を養成します。

【学習目標】

自分の専門以外の分野であっても、社会で一般的に使われている英語であれば、その内容を理解し、会話に積極的に加わって自分の意見を述べたり文章を書いたりする英語力の向上を目標とする。ヨーロッパ共通言語参照枠(CEFR)においては、C 1 (熟達した言語使用者)相当の英語力である(注を参照)。

【修了要件】

表中のA, B, Cの3群から修了要件内訳に従って科目を選択・履修し、合計20単位以上(英語Ⅲを4単位以上含む)を修得すること。但し、申請する科目のGPAが2.0以上であること。

なお、国際学類の学生の修了要件については、別に定める。

- ① 英語Ⅲを4単位以上
- ② 下表A・B・C群から、それぞれ4単位以上

区分	科目名	単位数	修了要件内訳	備 考	
選択	A群	英語Ⅱ (語学研修)	4	A群から4単位以上	原則的に、每学期、同一科目名の授業が複数開講されている。
		英語Ⅱ (ジョイントクラス)	2		
		英語Ⅲ (ジョイントクラス)	2		
	B群	英語Ⅱ (プレゼンテーション)	2	B群から4単位以上	
		英語Ⅱ (ディスカッション)	2		
	C群	英語Ⅱ (アカデミックスキル)	2	C群から4単位以上	
		英語Ⅱ (国際試験)	2		
		英語Ⅱ (英語で学ぶ文化)	2		
		英語Ⅲ (専門セミナー)	2		

【注】

CEFR (Common European Framework of Reference for Languages) は主としてヨーロッパで用いられている言語熟達度を表す客観的基準であり、A 1 (基礎)～C 2 (熟達) の6段階に分類されている。C 1レベルの語学力は次のように説明されている。

- ・いろいろな種類の高度な内容のかなり長いテキストを理解することができ、含意を把握できる。言葉を探しているという印象を与えずに、流暢に、また自然に自己表現ができる。
- ・社会的、学問的、職業上の目的に応じた、柔軟な、しかも効果的な言葉遣いができる。
- ・複雑な話題について明確で、しっかりとした構成の、詳細なテキストを作ることができる。その際テキストを構成する字句や接続表現、結束表現の用法をマスターしていることがうかがえる。

(『外国語教育Ⅱ 外国語の学習、教授、評価のためのヨーロッパ共通参照枠』(朝日出版社) 25頁)

④ 歴史から見た世界

【概要】

文系、理系を問わず、ふだん歴史を面白いと感じている人はたくさんいると思います。しかし大学の授業を真剣に受けてみると、普通に面白いだけではない、歴史の本当の面白さを知ることができるでしょう。歴史には、過去というフィルターを通して、私たちが現在・未来を生きていくためのヒントがたくさん隠されているはずです。

本プログラムは、日本史、東洋史、西洋史のみならず、考古学、美術史から科学技術史、スポーツ史に至るまで、幅広いジャンルの歴史をメニューとして用意し、歴史学という学問を通じてワンランク上の面白さを提供することを目指しています。これらの授業から、歴史がさまざまに発するメッセージをぜひキャッチしてみてください。

【学習目標】

過去を現在・未来に活かすための知識や方法、人間や社会に対する洞察力を、歴史学という学問に即して身につけることを目標とする。

【修了要件】

表中のA～Dの4群から修了要件内訳に従って科目を選択・履修し、合計10単位以上を修得すること。

区分	科目名	単位数	修了要件内訳	共通教育科目区分	備考	
選択	A群	絵画史料で読む日本史	2	A群から 2単位以上	テーマ別科目 (大テーマa)	
		日本古代史	2		一般科目 (社会)	
		日本近世社会史	2		一般科目 (社会)	
		日本中世祈りの風景—生死と宗教—	2		テーマ別科目 (大テーマc)	
		歴史学と現在—戦後の歴史学と歴史意識について考える—	2		テーマ別科目 (大テーマa)	
		石川の近代史	2		一般科目 (社会)	
		日本史要説	2		一般科目 (社会)	2年生以上履修可
	B群	中国古代生活瞥見	2	B群から 2単位以上	テーマ別科目 (大テーマa)	
		中国古代史入門—秦・漢時代の中国社会—	2		一般科目 (社会)	
		明清時代の中国社会	2		テーマ別科目 (大テーマa)	
		東アジア近現代史	2		一般科目 (社会)	
		ゼミ／漢文史料読解A	2		テーマ別科目 (大テーマa)	
		ゼミ／漢文史料読解B	2		テーマ別科目 (大テーマa)	
		東洋史要説	2		一般科目 (社会)	2年生以上履修可
		中国現代史	2		一般科目 (社会)	
		朝鮮文化—物と心—	2		テーマ別科目 (大テーマa)	
		ゼミ／日韓関係	2		テーマ別科目 (大テーマa)	
		ゼミ／朝鮮文化（北朝鮮）	2		テーマ別科目 (大テーマa)	
		考古学入門	2		一般科目 (人間)	

区分	科目名	単位数	修了要件内訳	共通教育科目区分	備考	
選択	B群	西アジアの先史文化	2	B群から 2単位以上	テーマ別科目 (大テーマa)	
		考古学と関連科学	2		一般科目 (社会)	
		中央ユーラシアの初期遊牧民	2		テーマ別科目 (大テーマa)	
	C群	ヨーロッパ経済史概説	2	C群から 2単位以上	一般科目 (社会)	
		ルネサンス都市フィレンツェ	2		一般科目 (社会)	
		ルネサンス宮廷の世界	2		一般科目 (社会)	
		西欧近現代史入門	2		一般科目 (社会)	
		ビザンツ史序説—10～15世紀を中心に—	2		一般科目 (社会)	
		もうひとつのギリシア史—古代末期から 初期中世へ—	2		一般科目 (社会)	
		中世後期の東地中海世界	2		一般科目 (社会)	
		歴史のなかの中世スイス	2		一般科目 (社会)	
	ヨーロッパ近世史入門	2	一般科目 (社会)			
	D群	フィレンツェの美術	2		一般科目 (人間)	1, 2年生優先
		科学技術史	2		一般科目 (自然)	
		律令時代の法・国家・社会	2		一般科目 (社会)	
		スポーツの歴史	2		テーマ別科目 (大テーマc)	
		法と歴史と思想	2		テーマ別科目 (大テーマa)	
		金沢大学の歴史	2		一般科目 (社会)	

今年度に関講しない科目も含まれます。時間割表で確認してください。

⑤ 健康・自己管理

【概要】

大学で教養を学ぶ意義の一つは、知識を習得するとともに、学びを通して他者と自己との相違に気づき、自己を客観視し、自己確立を果たすことです。

本プログラムには、青年期の心身の成長と自己管理に資する共通教育科目が集められています。また、講義科目だけでなく、豊富なグループ実習や体験学習を行う授業科目を用意しており、能動性・自主性を促すとともに、他者との円滑な人間関係を自ら築くコミュニケーション能力を養成し、自己の客観視、自己確立に導くことを目指しています。

【学習目標】

青年期の心身の成長と自己管理を促すとともに、他者との円滑な人間関係を自ら築くコミュニケーション能力を養成することを目標とする。

【修了要件】

表中のA, B, Cの3群から修了要件内訳に従って科目を選択・履修し、合計10単位以上を修得すること。

区分	科目名	単位数	修了要件 内訳	共通教育科目 区分	備 考	
選択	A 群	健康心理学	2	A群から 5単位以上	総合科目 (大テーマc)	
		心と体の健康	2		テーマ別科目 (大テーマc)	
		健康論実践A (生活習慣病予防を食事から考える)	1		総合科目 (大テーマc)	平成23年度までに履修した「健康論実践2」の1単位は、「健康論実践A」の1単位として認定される。
		健康論実践B (救急蘇生と安全な大学生活)	1		総合科目 (大テーマc)	平成23年度までに履修した「健康論実践1」の1単位は、「健康論実践B」の1単位として認定される。
		健康論実践C (自己発見のためのグループワーク)	1		総合科目 (大テーマc)	平成23年度までに履修した「健康論実践3」の1単位は、「健康論実践C」の1単位として認定される。
		健康論実践D (生活習慣病予防を食事から実践する)	1		総合科目 (大テーマc)	
		健康論実践E (人間関係トレーニング)	1		総合科目 (大テーマc)	
	B 群	基本の調理	1	B群から 1単位以上	テーマ別科目 (大テーマc)	
		身体・スポーツ実技	1		テーマ別科目 (大テーマc)	
		身体・スポーツ演習	2		テーマ別科目 (大テーマc)	
		ゼミ/「歩くを学ぶ講座」	1		テーマ別科目 (大テーマc)	
	C 群	ひとのからだⅠ	2	C群から 2単位以上	一般科目 (人間)	
		ひとのからだⅡ	2		一般科目 (人間)	
		疫学・保健統計学	2		一般科目 (人間)	
		健康増進科学	2		総合科目 (大テーマc)	
		ゲノムと細胞	2		テーマ別科目 (大テーマb)	
		ゼミ/健康問題を化学, 生物学で検証する	2		テーマ別科目 (大テーマc)	
		ポジティブ心理学	2		一般科目 (人間)	
		医療と情報	2		一般科目 (人間)	
		発達障害と出会う	2		テーマ別科目 (大テーマC)	
学生と精神の健康—精神疾患・発達障害・心の悩みの文理総合的な理解—		2	総合科目 (大テーマc)			
スポーツの歴史		2	テーマ別科目 (大テーマc)			
メンタルトレーニング		2	テーマ別科目 (大テーマc)			
運動と身体形成		2	テーマ別科目 (大テーマc)			
運動技能の学習と障害	2	総合科目 (大テーマc)	平成25, 26年度は開講されない			
ゼミ/スポーツ生命科学実験	2	テーマ別科目 (大テーマc)				
ゼミ/運動生理学概論	1	テーマ別科目 (大テーマc)				

区分	科目名	単位数	修了要件 内訳	共通教育科目 区分	備考
選択	ゼミ／健康教育学入門	1	C群から 2単位以上	テーマ別科目 (大テーマc)	
	ゼミ／身体運動心理学	2		テーマ別科目 (大テーマc)	
	ゼミ／スポーツと国際協力	2		テーマ別科目 (大テーマc)	
	生と死を見つめて—死生学入門—	2		総合科目 (大テーマc)	
	インド思想史—インド哲学入門—	2		一般科目 (人間)	
	ゼミ／留学生との合同言語・文化調査実習Ⅱ	2		テーマ別科目 (大テーマa)	
	倫理学A—生命倫理学入門—	2		一般科目 (人間)	
	生活設計論	2		テーマ別科目 (大テーマc)	
	食料の地理学	2		一般科目 (社会)	

今年度に関講しない科目も含まれます。時間割表で確認してください。

⑥ キャリアディベロップメント

【概要】

本プログラムは次のような内容を含み、生涯にわたって担う社会的役割（キャリア）について、学生諸君が深く考えることを目指しています。

- (1) 働く上で求められる能力は何かを考え、現状とのギャップを認識し、自己の能力を自律的に伸ばすための方策を考える。
- (2) 学外での課題提案・解決型の就業体験や、教室での課題発見・解決型の協調学習を通して、コミュニケーション能力、論理的思考力、課題発見力・解決力、自律的な行動力など、社会で求められる汎用的能力を実践的に身につける。
- (3) 現代の社会人として活躍する上で必要な知識と教養を習得する。

【学習目標】

- (1) 社会で働く上で必要な能力は何かを把握する。
- (2) その能力を伸ばすためには何に取り組むべきかを自覚し、自律的に行動する。
- (3) 状況を分析し、課題を見だし、それらを解決するための方策を立てる。
- (4) 社会人として活躍する上で必要な知識・教養を身につける。

【修了要件】

表中の必修科目および選択科目から修了要件内訳に従って科目を選択・履修し、合計10単位以上を修得すること。

区分	科目名	単位数	修了要件 内訳	共通教育科目 区分	備考
必修	キャリアディベロップメント入門	2	2科目 4単位必修	総合科目 (大テーマc)	
	キャリアディベロップメント実践	2		総合科目 (大テーマc)	
選択	実践力入門	2	選択から 6単位以上	テーマ別科目 (大テーマc)	
	情報発信リテラシーⅡ—情報教育シリーズ3-2	2		一般科目 (自然)	
	動画配信サービスを用いた情報発信演習—情報教育シリーズ3-3	2		一般科目 (自然)	
	プレゼンテーション演習—情報教育シリーズ3-4	2		一般科目 (自然)	

区分	科目名	単位数	修了要件内訳	共通教育科目区分	備考
選択	論理的思考と科学技術社会問題	2	選択から6単位以上	テーマ別科目(大テーマa)	
	論理的思考と科学リテラシー	2		テーマ別科目(大テーマa)	
	文系のための情報処理	2		一般科目(自然)	
	理工系のための情報処理	2		一般科目(自然)	
	医, 薬, 保健系のための情報処理	2		一般科目(自然)	
	一歩進んだPC活用講座	2		一般科目(自然)	

今年度に関講しない科目も含まれます。時間割表で確認してください。

⑦ 人間の心と思想

【概要】

「心とは何だろうか」、「自分らしい生とはどういうものなのだろうか」、「信じるに足るものはこの世界にあるのだろうか」、このような問いを、だれもが一度は考えたことがあるでしょう。人間に関わることこうした根本的な問いは、なかなか明確な答えが見いだせないけれども、私たちにとってきわめて切実なものです。本プログラムは、そうした人間的問題に対して人文科学的視点からアプローチするものです。具体的には、人間の行動のありようや心の働きを科学的・実証的に解明しようとする心理学、概念そのものを問い直す哲学、そしてこの世界における生のあり方を吟味する倫理学と宗教学からこのプログラムは構成されています。これら人文科学の諸分野を通じて、人間の心やその営為の産物としての哲学思想や宗教を学び、人間に関する問題意識を高めてください。

【学習目標】

人間そのものに関する幅広い知識と問題意識をもつとともに、批判的かつ実証的な人文科学的思考法を身につけることを目標とする。

【修了要件】

表中のA～D群から修了要件内訳にしたがって科目を選択・履修し、合計10単位以上を習得すること。

区分	科目名	単位数	修了要件内訳	共通教育科目区分	備考
A群	心理学A	2	A群から2単位以上	一般科目(人間)	
	心理学B	2		一般科目(人間)	
	心理学入門	2		一般科目(人間)	平成26年度は開講されない
	心理学入門B	2		一般科目(人間)	
	心理学入門C	2		一般科目(人間)	
	臨床心理学入門	2		一般科目(人間)	
	ポジティブ心理学	2		一般科目(人間)	平成26年度は開講されない
	自己理解, そして交流の方法としてのカウンセリング	2		テーマ別科目(大テーマc)	
	現代青年の心理学	2		テーマ別科目(大テーマc)	平成26年度は開講されない
	B群	哲学A		2	B群から2単位以上
哲学B		2	一般科目(人間)		

区分	科目名	単位数	修了要件 内訳	共通教育科目 区分	備考	
選択	B群	哲学C	2	B群から 2単位以上	一般科目 (人間)	
		ギリシャ哲学入門	2		一般科目 (人間)	
		科学哲学Ⅰ	2		一般科目 (人間)	
		科学哲学Ⅱ	2		一般科目 (人間)	
		三木清の思想	2		一般科目 (人間)	
	C群	倫理学A	2	C群から 2単位以上	一般科目 (人間)	
		倫理学B	2		一般科目 (人間)	
		倫理学C	2		一般科目 (人間)	
		人間学入門	2		一般科目 (人間)	
	D群	宗教学A	2	D群から 2単位以上	一般科目 (人間)	
		宗教学B	2		一般科目 (人間)	
		宗教学C	2		一般科目 (人間)	
		宗教民俗学	2		一般科目 (人間)	
		インド思想史	2		一般科目 (人間)	

⑧ 文系のための数学

【概要】

数学は、人類の知性の一つの結晶であるとともに、自然科学のみならず社会科学や人文科学、人間科学の多くの分野においてその法則を適切に表現するための「言葉」として用いられており、また、現代のリテラシーとしても万人に必要とされています。社会科学や人文科学、人間科学に用いられる数学の代表的なものとして、

- ① 経済成長理論や利潤最大化を論ずる最適化問題
- ② 画像、音声や脳波の成分分析に使われるフーリエ解析
- ③ 行動生起や判断事態の確率的解釈
- ④ 推定・検定・サンプリングの理論・分散分析・回帰分析などを扱う統計学

などが挙げられますが、数学の基礎は論理学に直結していることから、これらに分類されない多くの応用もあります。

さて本プログラムには大別して

- ・微分積分学や線形代数学等の大学初年級における標準的題材を扱う科目
- ・集合論や幾何学等の数学の基礎的個別分野の話題を扱う科目
- ・確率・統計やゲーム理論等を手掛かりに、様々な分野への数学の応用の手法を概観する科目

が用意されています。

文系の学生諸君もこれらの科目を履修することにより、教養としての数学を身につけると同時に、上に述べた実際の応用を学ぶための基礎知識を習得することを勧めます。

学生個人の興味と、専門分野での必要性に応じて学ぶことで、数学の面白さに触れる機会となることを期待しています。

【学習目標】

数学的思考方法に慣れ、数学の基本的技法を習得する。
数学の応用方法を学ぶ。

【修了要件】

表中の科目から、合計6単位以上を修得すること。

区分	科目名	単位数	修了要件 内訳	共通教育科目 区分	備 考
選択	確率的現象のシミュレーション	2	6単位以上	テーマ別科目 (大テーマb)	
	ゲームとパズルの数学	2		テーマ別科目 (大テーマb)	
	ネットワークの数学入門	2		テーマ別科目 (大テーマb)	
	文系のためのやさしい微積分	2		一般科目 (自然)	
	線形代数入門	2		一般科目 (自然)	
	統計入門	2		一般科目 (自然)	
	数学入門	2		一般科目 (自然)	
	幾何学入門	2		一般科目 (自然)	
	無限と数学	2		一般科目 (自然)	
	数学基礎	2		一般科目 (自然)	
	文系の応用数学入門	2		一般科目 (自然)	

今年度に開講しない科目も含まれます。時間割表で確認してください。

⑨ 社会のしくみと動き

【概要】

このプログラムは、社会のしくみと動きを研究対象とする、法学、政治学・政策学、経済学・経営学に関連する授業科目を中心として構成されています。これらの学問分野を専門として学ぶかどうかを問わず、私たちは学校を卒業して就職すれば、「社会」人と呼ばれ、社会の一員として人生を過ごすことになりますから、社会に出る前に、社会のしくみと動きの学問的な把握と分析がどのように行われているのかの一端に触れておくことは、すべての学生にとって極めて重要なことであると考えます。

A群（法学）には、私たちが社会生活を送る上でのルールを対象とする授業科目が集約されています。皆さんの中には、「法学＝六法全書の丸暗記」というイメージを持つ人もいかもしれませんが、それは誤りです。法学は、ルールの意味内容を探求する——意味内容を度外視した丸暗記ではありません——「法解釈学」をコアとして、法の根本にある価値（例えば、正義や公平）や法の歴史の探求、あるいは諸外国の法との比較などを通じて法解釈のためのツールを豊かにする「基礎法学」がそれを支えています。

B群（政治学・政策学）には、国や地方自治体といったレベルでの様々な問題を解決するための政策の在り方やその決定プロセスを対象とする授業科目が集約されています。私たちの社会には、常に利害対立があり、また様々な問題が起こっています。よりよい社会を形成するには、このような利害対立を調整し、また問題を解決する必要があるとともに、この調整あるいは解決は、社会的な承認が得られるものでなければなりません。政治学・政策学は、このような課題に取り組んでいます。

C群（経済学・経営学）には、個人・企業・政府といった個々の経済主体の意思決定やそれらの相互関係等について考える授業科目が集約されています。経済現象は複雑で必ずしも安定的なものではありません。このような現象を理解し、安定的なものとするためには、経済主体がどのようなインセンティ

に基づき行動し、その結果が社会に対してどのような影響を与えるのかを知る必要があります。C群の科目では、歴史・理論など様々なアプローチからこのような問題に取り組みます。

【学習目標】

社会人の一員として、自らが生活する社会のしくみと動きの学問的な把握と分析の手法の一端に触れ、よりよい社会を形成するための思考の手がかりを得ることを目標とする。

【修了要件】

表中のA、B、Cの3群から修了要件内訳に従って科目を選択・履修し、合計10単位以上を修得すること。

区分	科目名	単位数	修了要件内訳	共通教育科目区分	備考	
選択	A群 (法学)	映画で読み解くアメリカ法	2	A群から 2単位以上	テーマ別科目 (大テーマa)	
		法論理学入門	2		テーマ別科目 (大テーマa)	
		刑事裁判と国民生活	2		テーマ別科目 (大テーマa)	
		現代社会における労働法と社会保障法の役割	2		テーマ別科目 (大テーマa)	
		民事裁判と現代社会	2		テーマ別科目 (大テーマa)	
		医事法入門	2		テーマ別科目 (大テーマa)	
	B群 (政治学・政策学)	石川県の市町	2	B群から 2単位以上	総合科目 (大テーマa)	いしかわシティカレッジ開講
		石川県の行政	2		総合科目 (大テーマa)	いしかわシティカレッジ開講
		政治学	2		一般科目 (社会)	
		公共政策入門Ⅰ	2		一般科目 (社会)	
		公共政策入門Ⅱ	2		一般科目 (社会)	
		行政学入門	2		一般科目 (社会)	
		環境政策論	2		一般科目 (社会)	
	地方行政	2	一般科目 (社会)			
	C群 (経済学・経営学)	ブランディング入門	2	C群から 2単位以上	テーマ別科目 (大テーマa)	
		経済学入門A	2		一般科目 (社会)	
		経済学入門B	2		一般科目 (社会)	
		経済学入門C	2		一般科目 (社会)	
		経済学入門D	2		一般科目 (社会)	
		簿記入門	2		一般科目 (社会)	

今年度に関講しない科目も含まれます。時間割表で確認してください。

⑩ ことばと文化

【概要】

ことば(言語, 自然言語)を持つことは, 人類の最も重要な特徴の一つです。私たちは, ことばによって思考し, 意思伝達(コミュニケーション)をはかりながら日々の生活を営んでいます。さらに, ことばは単に生存, 生活の手段というだけでなく, 豊かな文化を生み出す創造の源泉になっています。我々

の精神は、ことばが紡ぎ出す世界によって計り知れないほど大きな広がりを見せています。

このプログラムでは、人間が持つことばについて多角的に知るとともに、ことばを使って繰り広げられる、文学に代表されるような、人間の文化活動に関する理解を深めることを目指します。また、ことばとの付き合い方をあらためて見直すきっかけとなることも考慮しています。さらに、ことばに隣接する領域（たとえば、図像や映像をはじめとする表象一般）についても、話題の中に含まれています。

人間について深く知るという点で、本プログラムで扱う内容は文系理系というステレオタイプの区別でとらえるべきものではありません。その意味でも、先入観にとらわれることなく、ことばとそれをめぐる人間の諸側面、諸活動についての認識を深めてください。

【学習目標】

ことばとことばをめぐる人間の諸側面、諸活動を知り、その多様性に触れることで、人間に対する理解を深めるとともに、他者に対する理解の幅を広げることを目標とする。

【修了要件】

表中の科目から、合計10単位以上を修得すること。

区分	科目名	単位数	修了要件 内訳	共通教育科目 区分	備考
選択	ゼミ／イタリアの言語と文化	2		テーマ別科目 (大テーマa)	平成26年度は開講されない
	ゼミ／デンマークの言語と文化	2		テーマ別科目 (大テーマa)	
	北欧神話概説	2		テーマ別科目 (大テーマa)	
	環境文学	2		テーマ別科目 (大テーマa)	
	新聞を使ってのライティング	2		テーマ別科目 (大テーマa)	いしかわシティカレッジ開講
	金沢で学ぶ能楽入門	2		テーマ別科目 (大テーマc)	平成26年度は開講されない
	ことばと文学G—日本語文字の特性—	2		一般科目 (人間)	
	ことばと文学H —江戸時代の小説を読む—	2		一般科目 (人間)	
	ことばと文学I —江戸時代の古典研究—	2		一般科目 (人間)	
	ことばと文学J —日本語の「変化」と乱れ—	2		一般科目 (人間)	
	ことばと文学K—日本中世の文学—	2		一般科目 (人間)	
	ことばと文学N—表現世界の解説—	2		一般科目 (人間)	
	ことばと文学O —日本語方言の諸相—	2		一般科目 (人間)	
	ことばと文学P—中国古小説の世界—	2		一般科目 (人間)	
	ことばと文学Q —日本の近現代文学—	2		一般科目 (人間)	
	ことばと文学S —日本の近代文学をめぐって—	2		一般科目 (人間)	
	ことばと文学T	2		一般科目 (人間)	
	言語心理学	2		一般科目 (人間)	
	言葉の働きとその障害 —さまざまな言葉の障害—	2		一般科目 (人間)	